

令和6年度 福岡県高校生介護技術コンテスト 評価表

競技校

高等学校

審査委員名

評価項目		審査の参考ポイント	審査委員記入欄	採点	
介護技術	身体状況に応じた支援	身体状況への理解と対応 生活における心理面への理解と対応		□6 □5 □4 □3 □2	
	潜在能力を活用した支援	一連の動作における潜在能力の活用 支援が必要な範囲への判断 リハビリテーションを意識した支援		□8 □6 □4 □2 □0	
	ボディメカニクスを活用した支援	福岡さんのボディメカニクスの活用 介護者のボディメカニクスの活用		□6 □5 □4 □3 □2	
	安全・安楽への留意と支援	安全・安楽な移動 安全・安楽な移乗 安全・安楽な姿勢		□8 □6 □4 □2 □0	
	福祉用具・物品の活用	目的に応じた安全かつ適切な福祉用具の活用 目的に応じた安全かつ適切な物品の活用 適切な感染症対策と環境整備		□6 □5 □4 □3 □2	
	チームケア	身体介護に見られる介護者同士の連携、分担 円滑な支援への工夫		□6 □5 □4 □3 □2	
5段階評価		評価項目ごとの大変良い(数字の最高値)⇨良い⇨普通⇨努力を有する⇨不十分(数字の最低値)		計	／40点

評価項目		審査の参考ポイント	審査委員記入欄	採点	
コミュニケーション技術	挨拶などコミュニケーションの基本	適切な声量・距離 受容・傾聴の姿勢 状況に応じた気分・体調確認		□6 □5 □4 □3 □2	
	自己決定	これから行う支援の流れについて説明 意思確認・同意 自己決定を促す声かけ		□6 □5 □4 □3 □2	
	個別化自立支援	主体性を促す声かけ 心身状況の理解と配慮 生活意欲を引き出すアプローチ		□8 □6 □4 □2 □0	
	訴えに対するアプローチ	言語的コミュニケーションの工夫 生活意欲を引き出すアプローチ 非言語的コミュニケーションの活用		□8 □6 □4 □2 □0	
	介助中のコミュニケーション	年齢や心身面に配慮したコミュニケーション 尊厳に基づくコミュニケーション 生活背景を理解したコミュニケーション		□6 □5 □4 □3 □2	
	チームケア	介護者同士の連携、分担 円滑な支援への工夫		□6 □5 □4 □3 □2	
5段階評価		評価項目ごとの大変良い(数字の最高値)⇨良い⇨普通⇨努力を有する⇨不十分(数字の最低値)		計	／40点

評価項目	ポイント	採点
質疑 ※1分	「スタート位置を選んだ理由を教えてください」	□5 □4 □3 □2 □1
アピール ※3分間 減点対象なし	※心理的・身体的状況の理解、アセスメントや介護計画の内容、エビデンスに基づいた創意工夫のある介護・きりりポイント(爽やかさ・明るさなど)などが基準	□15 □13 □11 □9 □7
5点(大変良い)4点(良い)3点(普通)2点(努力を有する)1点(不十分) 15点(大変良い)13点(良い)11点(普通)9点(努力を有する)7点(不十分)		計 ／20点

採点結果	介護技術	コミュニケーション技術	質疑・アピール	総合点
	／40点	／40点	／20点	／100点
【競技時間について】 時間不足および時間超過した場合には総合点から5点を減じる ～5分59秒 6分～7分 7分01秒～ 5点減 適性時間 5点減				競技時間
				分 秒
				最終得点
				点

出場校へのコメント